

男抱山～半蔵山山行報告

【山行日】2022年 1月 30日(日) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 7:00

【費 用】マイカー2台 : 900円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、 青柳、安西、
飯口、嶋田、関、藤原

【コースタイム】栃木市運動公園P6:30＝ロマンチック村 P7:40/8:00～男抱山登山口 8:20～

男抱山 8:50/9:00～大岩 9:50/10:00～半蔵山

10:20/10:30～羽黒山 11:55～池ノ鳥屋山

11:30/11:35～尾根 11:45/12:15～栗谷沢ダム

P13:10/13:40＝ロマンチック村 13:50/14:15＝栃木市運動公園P15:00

皆さんは初めての山に登りたい要望があるので、久しぶりに男抱山から半蔵山を計画した。栃木市運動公園を6時30分に出発し、ロマンチック村手前の交差点を左折して栗谷沢ダム駐車場



に向かう。ダムの駐車場に車をデポし、我輩の車に乗り換えロマンチック村へ向かった。ロマンチック村駐車場に車を止め、出発の準備を整えたらトイレ前に移動しストレッチを行って出発する。国道293号線に出て右に進み、ただおみ温泉先の左側にある墓地に男抱山登山口がある。道標に従って杉林の登山道を進み、まもなく男抱山と富士山、中央登山道の分岐に出る。分岐を右に進むと金毘羅様が祀られており、右に登って参拝し安全登山を祈願

する。登山道に戻って進むと岩場の登りになり、トラロープを頼りに狭い岩の間をよじ登ると男抱山

山頂に出る。山頂からの展望は素晴らしく360

度の大展望が得られる。只、狭いので長居は出来ず、記念写真を撮ったら半蔵山へ向かう。

山頂からの下りも急な岩場をロープで下り、山頂をトラバースするように下ると鞍部に出る。

ここは十字路になっており直進すると富士山へ、左は中央登山道で半蔵山へは右に下って行く。

杉林の道を進むと明るい自然林になり、小さな案内標識に従って尾根上を進む。あまり歩かれて無い道だが、小さな案内標識を見逃さなければ迷うことは無い。皆さん初めてのコースは楽し

いらしく、会話が弾んで快調に高度を上げて行く。やがて大岩と言われる場所に出て、大きな岩の脇で休憩を取りキーウイフルーツや菓子をいただく。



大岩にはロープを頼りに上まで登れるが、危険なので登る人はいなかった。岩の下が胎内くぐりのように抜けられ、反対側に出てみたが何もなかった。ここからほんの少し登ると林道に出て、車や



自転車で登ってきた人が休んでいた。

林道を右に少し進むと半蔵山への標識があり、杉林の中の登山道を登って行く。15分程で半蔵山山頂に着き、山頂は杉林の中で眺望は無いが山名板と三角点が置かれている。山名板をバックに記念写真を撮り、直ぐに羽黒山に向かって下って行く。少し下ってすぐ登り返したピークから日光連山が望め、皆さんから「ウワ～綺麗」と歓声が上がる。しばらく展望を楽しんだら羽黒山に向かって稜線を進む。小さなアッ

プダウンを繰り返しながら進むと羽黒山山頂に着き、大きな山頂標識の先に立派な祠が建っている。

山頂から直角に右に折れて急坂を下って行き、登り返すと土平山山頂に着く。山頂は林の中で何もなく、そのまま稜線上を進み池ノ鳥屋山へ向かう。明るい自然林の稜線歩きが続き、岩のヤセ尾根を軽快に歩いて行く。日光連山や麓の田園風景が望め、暖かい陽射しを受けて気持ち良く歩いて行く。やがて細長いピークの池ノ鳥屋山南端に出て、北にほんの少し進むと山頂標識がある。山頂は植林帯の中で展望が無く、記念写真を撮ったら南端まで戻る。ここで昼食の予定だったが日陰で寒く狭



いので、西側の尾根を少し下り陽だまりの尾根でランチタイムとする。登山者が来ないので登山道に並び、お湯を沸かしてスープやカップ麺を作りおにぎりやパンをいただく。ランチが済んだら下山



開始し、そのまま尾根を進んで鞍掛峠へ向かう。尾根を外さないようアップダウンを繰り返しながら進み、途中栗谷沢ダムへ直接下る道を左に分けひたすら尾根を進む。やがてコンクリートの階段が現れ、登ると平坦なピークに出てかつて神社があったようだ。そのまま直進して下り、途中から右の谷に向かって下り、荒れた道を進むと鞍掛峠の道路に出た。ここは鞍掛トンネルが出来る前の旧道で、左に下ると栗谷沢ダムに向かう。ここから我輩が先行して下り、ダム駐車場にデポした車でロ

マンチック村に向かう。ロマイイチック村で車を乗り換え、皆さんを迎えに栗谷沢ダムに向かう。

ダム堰堤で皆さんを乗せ、ロマンチック村に戻ってトイレを済ませて買い物タイム。

お買い物が済んだら2台の車に分乗し、無事に栃木市運動公園へ帰着した。